

令和5年度学校自己評価システムシート (県立ふじみ野高等学校)

目指す学校像	これからの時代をたくましく生きる知・徳・体を育むとともに、仲間とともに学習にスポーツ・文化活動に全力でチャレンジし、地域に元気・感動・夢を発信する学校
--------	---

重点目標	1 主体的に取り組む学習活動の推進 2 自律的な規範意識と他を尊重する精神の向上 3 自己実現を目指したキャリア教育と進路指導の実践 4 部活動・生徒会活動や体験活動を通じた人間力の育成
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	4名

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標					年 度 評 価 (1月25日 現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	○現状 約8割の生徒が授業内容を理解している。また、英検や数検などの合格者も出ている。その反面、学習活動に苦手意識を持つ生徒も存在する。 ○課題 ・引き続き、生徒の興味・関心を引き出す授業を展開していく。 ・ICTを活用した授業を展開し、学習内容の理解促進に努めていく。	学習意欲の向上と基礎学力の定着	①生徒にわかる喜びを味わわせる授業を展開する。 ②ICT機器の活用や生徒の主体的・対話的な学習活動をさらに工夫する。 ③学習アプリの継続的な活用、スモールステップの課題、小テストを実施する。 ④英検、漢検等、各種検定の受検機会を提供する。	①授業を受けて、わかる喜びを味わった割合 ②ICT機器活用状況 ③学習アプリの活用状況 ④各種検定の受検者数と合格状況	8割5分の生徒が授業内容を理解し、また、9割1分の生徒が一生懸命、授業に取り組んでいることから、概ね学習意欲の向上、基礎学力の定着が図られ、概ね評価項目を達成できている。 ①73.2% ②63.1% (授業中) ③43.7% ④英検 2回実施 2級合格者 2名	A	1割4分の生徒が授業内容を理解できていないと、また、5割6分の生徒が家庭学習にICT端末やアプリを活用していないと回答している。学ぶ喜びや大切さをさらに指導し、主体的に学習に取り組む態度を育成していくことが課題である。
2	○現状 あいさつを始め、時間の厳守、身だしなみなど高校生として、とても良い行動、対応ができていく。数件であるが、自転車による交通事故がある。 ○課題 ・生徒の規範意識を更に高めるため、継続して生活指導を行っていく必要がある。 ・様々な悩みを抱えている生徒に対し、関係者が連携して対応する相談体制をつくる。	自律する心の育成と安心できる教育環境の整備	①基本的な生活習慣を順守する。 ②交通安全マナーアップ、校内環境美化を徹底する。 ③年間を通じて遅刻指導を継続し、特定期間を重点的に指導する。 ④二者面談、三者面談の実施、スクールカウンセラーの活用等、生徒の悩み、不安を解消するため組織的に教育相談を実施する。	①あいさつ、時間厳守や身だしなみの状況 ②自転車点検、通学指導、交通安全教室の実施状況 ③出席・遅刻・欠席状況 ④面談や相談体制の実施状況	9割以上の生徒が自ら進んであいさつをしたり、服装や髪型などの身だしなみをきちんとして、自律する心の育成が進み、概ね評価項目を達成できている。 ①あいさつ 92.6% 身だしなみ 95.0% ②自転車点検 3回実施 通学指導 毎日実施 交通安全教室 1回実施 ③遅刻・欠席状況 1.8・3.7% ④二者・三者面談 3・2回実施 スクールカウンセラー 2回実施	A	交通安全については、交通安全教室をはじめ、全校集会や各HRで指導しているが、残念ながら、登下校時の自転車での交通事故があり、引き続き、一時停止や2人乗り禁止を指導していく。また、コロナ感染時の影響からか、一部の生徒に簡単に欠席する傾向が見られる。
3	○現状 生徒一人一人の進路希望に応じた進路指導が行われ、3年間を見通した進路指導により生徒の希望している進路実現ができていく。 ○課題 ・基礎力診断テスト等の実施の効果を上げるため、継続して職員研修会を実施していく。 ・進路行事(学年別進路説明会、模擬面接会等)を更に充実させる。	1・2学年における段階に応じた希望進路の明確化及び3学年における第一希望進路の実現	①分野別ガイダンスや各種説明会を工夫して実施する。 ②進学補講、面接指導や小論文指導を実施する。 ③基礎力・実力診断テストの分析情報を共有し、進路指導へ活用する。 ④ふじみ野市と連携した面接会を実施する。 ⑤保護者対象の進路説明会を開催し、十分な情報提供を行う。	①分野別ガイダンス・各種説明会の実施状況 ②進学補講、面接・小論文対策講座の実施状況 ③診断テスト分析会の実施状況 ④模擬面接会の実施状況 ⑤保護者対象の進路説明会や情報提供状況	1年時には大学キャンパス見学、2年時には分野別ガイダンスを実施し、早い段階から希望進路の明確化に努め、3年時における第一希望進路実現に向け、きめ細やかな指導を実施し、概ね評価項目を達成できている。 ①分野別ガイダンス 8回実施 ②面接・小論文対策 2回実施 ③診断分析会 3回実施 ④模擬面接会 2回実施 ⑤進路だより 10回発行	A	高校卒業3年後の就職離職率が約5割と言われる中、生徒本人の希望はもちろんであるが、家庭で話し合いも重要と考える。進路先や将来について、家庭で話し合いが生徒の23.2%ができていない点においては、今後、家庭での協力をも指導・支援していくことが課題である。
4	○現状 新型コロナ第8波も収まりつつある中で、でき得る感染対策を実施し、ポストコロナ元年とも言われる本年度、新型コロナ発生前の状況に可能な限り、戻していきたい。 ○課題 ・第9波は想定をする。 ・部活動や体験活動の質を高め、人間力の育成を充実させていく。	部活動、生徒会活動や体験活動の更なる充実	①文化祭、体育大会、修学旅行、野外実習(SS科)等の活動を実施する。 ②外部指導者を活用する。 ③主体的な部活動に取り組む。 ④地域との交流やボランティア等の機会を積極的に活用する。 ⑤本校の特色や魅力を地域に積極的に発信する。	①各行事の実施状況 ②外部指導者の活用状況 ③部活動の実績及び活動状況 ④地域との交流状況やボランティア参加状況 ⑤本校ホームページの情報発信や地方FM局を活用した広報活動状況	8割7分の生徒が部活動や生徒会活動に休まず参加している。また、新型コロナが第5類に移行され、各学校行事が成功裏に実施できた。概ね評価項目を達成できている。 ①予定どおり実施 ②5部活で延べ6人の活用 ③インターハイ出場 2部活 ④おおい祭り・献血キャンペーンに参加 ⑤HP 行事ごとに更新 FM 53回 ON AIR	A	本校の目指す学校像にある「地域に元気・感動・夢を発信する学校」として、各部活や生徒会の果たす役割は大きい。今後とも、応援される部活動、生徒会活動として、活動をさらに充実させていくことが課題である。

実施日	令和6年2月1日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT端末を活用した学習のことを保護者は知らないと思う。もっと周知した方が良い。 ・保護者アンケートに、欠席した生徒の学習支援についてコメントがあったが、社会に出る直前の高校生として、自ら動くことも必要と考える。 ・授業を欠席した時、後日、自分から先生に聞きに行くべきと思うが、少しハードルが高いように感じる。 ・9割以上の生徒があいさつを進んでいるとあるが、来校し廊下を歩いていると、気持ちの良いあいさつをもらえる。ふじみ野高校の良さであり、伝統になっている。 ・生徒のあいさつも素晴らしいが、先生方も生徒によくあいさつをしている。 ・交通事故はなくなって欲しい。 ・学校での自転車点検など先生方の努力に感謝している。 ・大学に勤務しているが、本学に入学した一部の学生に進路ミスマッチを感じている。本日、1年生の分野別進路説明会を拝見したが、早い段階での進路選択検討に有効な取組である。 ・進路選択でSNSでの情報を鵜呑みにしていないか。ぜひ、オープンキャンパス参加など自分の目で進路先を確認して欲しい。 ・体育大会にうちの園児が招待され、組み体操やマスをゲームを見せていただいた。地域での交流・関わりを持てることはとても良いことと思う。 ・そのような地域交流により、ふじみ野高に関心が出て、通学時あいさつを交わす関係になっている。

